

強者の戦略

【長い時間を如何にしてまとめるか】

こんにちは、最近海外に留学している卒業生や10年以上前の卒業生がブログにコメントをかいてくれてうれしい男、北林でございます。

ブログですが、研伸館のHPからもリンクがはっていますが、こちらです。

<http://ameblo.jp/hs-kitabayashi-ken1102/>

よかったらコメントを書いてくださいね。…って前回も前々回も書きましたね。こんなことを書いてほしいなどありましたら、おっしゃってください。

さて、9月も下旬。センター試験までそろそろ100日ほどになってきました。みなさんは夏の間をしっかり力をつけてきたことだと思います。東大や京大を受験する人もそろそろ過去問としっかり向かい合って、特徴をつかんでください。東大は過去に出題されたことがリニューアルされたりアレンジされたりして出題されることが多くあるので、過去問は隅から隅までじっくりみておきましょう。京大は逆に過去に出したことをさける傾向があります。まずは過去問にあたりレベルを把握し、できるかぎり様々な問題に広くあたっていきましょう。

今回の問題ですが、東大の2001年の問題です。一つの地域を長く問う問題です。東大は異なる地域の文明が融合・衝突することを問うことが多いですが、一つの地域の長い歴史を問うこともあります。

こうした問題は、まずどこからどこまでを問われているかを考え、その時期に当てはまることを全力で書き出すところから下書きをはじめなくてはなりません。ではチャレンジしてください。

問 輝かしい古代文明を建設してきたエジプトは、その後も、連綿として5000年の歴史を営んできた。その歴史は、豊かな国土を舞台とするものであるが、とりわけ近隣や遠方から到来して深い刻印を残した政治勢力と、これに対するエジプト側の主体的な対応との関わりを抜きにしてはかたるとはできない。

こうした事情に注意をむけ、

(1)エジプトに到来した側の関心や、進出にいたった背景。

(2)進出をうけたエジプト側がとった政策や行動

の両方の側面を考えながら、エジプト文明の発祥以来、いかなる歴史的展開をとげてきたかを概観せよ。解答は18行(540字)以内とし、下記の8つの語句を必ず1回は用いた上で、その語句の部分に下線を付せ。

アクティウムの海戦	イスラム教	オスマン帝国
サラディン	ナイル川	ナセル
ナポレオン	ムハンマド・アリー	

(東京大学 2001年)